



やまがた緑環境税活用事業

マイ箸づくり&森のホームステイをしてみませんか

日時:11月29日(日)午前10時~午後3時 場所:若鮎温泉

無料です

対象:大人、子ども(保護者同伴)



木エクラフト



森のホームステイ

若鮎温泉に「やまがた緑環境税」のパネルを展示します。

期間:11月25日(火)~12月2日(水)迄

この機会に、ぜひ森林資源の保全・活用に関心を!



深めてみませんか



県民みんなで支える森づくり わたしたちのやまがた緑環境税

山形県の森林
山形県は、奥土の約7割が森林です。海岸地帯のクマシゲやブナ林から、標高2000mを超える山岳地帯のハイマツ林に至るまで、多様な森林が分布しています。このうち、天然のブナ林は総面積の約1割を占めています。

森林のはたらき
わたしたちの暮らしを支える「森林のはたらき」

森とみどりを未来へつなぐため
森林には、暮らしを支える大切な役割があります。一度森林が荒れてしまうとその再生には大変長い年月がかかることから、手遅れにならない前に、県では「やまがた緑環境税」を導入し、森林の持つはたらきを守ってきました。

これまで、どんな成果がありましたか?

森林の整備など 長官のちから 整備した森林の面積	山形県の森林整備 671千ha	掛種別面積 671千ha	山形県民による森づくり活動 11,816名	山形県民による森づくり活動 13,292名	山形県民による森づくり活動 1,476名
--------------------------------	--------------------	-----------------	--------------------------	--------------------------	-------------------------

山形県民による森づくり活動

- 森づくり活動への参加者数が増加しました。H28(10年目)10万人へ着実に増加しています。
- 森づくり活動を行う団体・企業が増加しました。(106団体、絆の森協定38企業)
- 絶滅危惧種など野生動物の現状について情報を発信しました。

やまがた緑環境税を活用して これからも大切な森林を守り育てていきます

I 環境保全を重視した森林施策の展開

- 環境保全を重視した森林整備の推進
荒廃のおそれのある人工林や活力が低下している里山林の整備を引き続き進めていくことで、わたしたちの暮らしを支える森林のはたらきを守っていきます。
- 森林資源の循環利用の促進
伐採後の間伐材や、間伐材などの間伐材利用を引き続き支援することで、「植える-育てる-利用する-植える」の森林資源の循環利用を進めています。

II みどり豊かな森林環境づくりの推進

- 県民参加の森づくりの推進
地域住民や市町村、企業などが行う森づくり活動を引き続き支援することで、県民みんなで支える森づくりを進めています。
- 豊かな緑を守り育む意識の醸成
森林-自然環境学習等の推進
あらゆる年代への森林・自然環境学習や「木育」を進めていくことで、森林への理解を深めていきます。
- みどりを育む意識の醸成
森づくりイベントや、広報紙などにより、県民みんなで支える森づくりの大切さを伝えていきます。

自然環境保全対策の推進
森林生態系をはじめとする自然環境を保全していくため、各種調査を進めています。

山の実り調査
野生動物の生息状況調査

